

2020年度 活 動 計 画(変更後)

法人の名称 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

1 事業活動方針

新型コロナウイルスの感染が広がり、事業の実施に慎重を期する1年となるが、よりよい子どもの未来へ向けて子ども達が生きる喜びを感じられる社会づくりを進めるため、「地域創造(創る)」「架け橋(つなぐ)」「醸成(担い合う)」の3つのミッションを遂行する。

具体的には、子どもたちの現状を市民に伝えること、潜在的なサポーターの掘り起こしを図ること、子ども・子育ての課題に取り組む団体へ助成すること、活動団体とサポーターをつなぐコーディネートを行うことなど通じて子ども支援活動への支援と子ども支援活動を支える地域づくりを進める。

また、かながわボランティア活動推進基金 21 による神奈川県との協働事業「子ども支援活動地域サポート推進事業」が2年目となる。前年度に作成したパンフレットの活用を図ることや、前年度から設計を進めているポータルサイト「こどもの未来応援ネット」を完成させ、運用を開始する。

既存の事業を工夫するとともにこれらの新たなツールを活用して一層の機能強化図っていく。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①個人や企業・団体からの寄付金品等を募るための寄付プログラムの開発と普及

ア NPO等とその活動を支援する企業・団体(サポーター)をつなぐ仕組みをつくる事業

ポータルサイトの開設にむけ準備する事業(基金21協働事業負担金事業)

- ・内 容 ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の完成と運用
子ども支援活動団体を支える企業等のサポーター向け、子ども支援活動団体向け、子育て当事者等向けのページで構成し、双方向の情報交換ができるポータルサイトを構築し運用する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 3,500,000円

つなぐ・支えるコーディネート機能を充実する事業(基金21協働事業負担金事業)

- ・内 容 「つなぐ・支える相談窓口の運用」
「つなぐ・支える相談窓口」を運用し、子ども支援活動と活動を支えるサポーターをつなぐコーディネート機能の充実を図る。
ワールドカフェ(こどものみらい応援ネットワークワーキング)の開催
実施協力団体を得て、貧困等への対応を念頭に、子ども支援交流会を実施する。
- ・日 時 随時 窓口運用通年 ワールドカフェ秋以降(1回)
- ・場 所 事務局及び県内

- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 2,000,000円

イ 様々な寄付プログラムを実施し普及を図る事業

会員の募集と寄付の募集

- ・内 容 会員の募集

	2020年度目標	2019年度実績
正会員	46名※ (46口)	84名 (47口)
準会員	24名 (24口)	22名 (24口)
子ども応援会員	13名 (18口)	13名 (18口)
法人会員	20社 (22口)	11社 (13口)

※定款第9条第2項の適用による減を見込む

寄付の募集

	2020年度目標	2019年度実績
一般寄付金	7,582,857円	7,965,180円
運営基盤を支える寄付金	1,000,000円	357,330円

- ・日 時 通年
- ・従事者人員 15人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支出額 1,650,600円

ヨコハマ・アコースティックフェスティバル等への参加

- ・内 容 イベントブースでの募金活動及び普及啓発活動
ヨコハマ・アコースティックフェスティバル等のイベント会場で子どもの居場所事業等を実施している活動団体紹介や募金活動を行う。
- ・日 時 未定
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支出額 150,000円

商店街でのチャリティーバザーの実施

- ・内 容 商店街の寄贈品によるチャリティーバザー
モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合の協力により、商店街の秋のイベントであるフライマルクトでチャリティーバザーを実施する。
- ・日 時 10月4日
- ・場 所 川崎市元住吉 モトスミ・ブレーメン通り商店街
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支出額 30,000円

各種団体主催イベントでの募金活動

- ・内 容 連合神奈川主催のメーデー等に出店
飲料のチャリティー販売と募金活動を行う。
- ・日 時 未定
- ・場 所 臨港パーク等
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 10,000円

福祉団体主催イベントでの募金活動

- ・内 容 福祉作業所主催のバザーに出店
飲料のチャリティー販売と募金活動を行う。
- ・日 時 11月23日
- ・場 所 保土ヶ谷区 地域作業所ダンボ
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 20,000円

- ②個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費に関わる助成または子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の事業費に関わる助成

ア 助成事業

2020年度助成事業

- ・内 容 2020年度助成の実施
「一般助成」に加え「課題助成①いじめ・児童虐待防止」「課題助成②貧困」の3分野、総額150万円1団体上限25万円で2019年度に募集し、助成選考委員会の審議を経て、8団体へ総額150万円を助成する。
2020年度助成選考委員会
助成選考委員会 2020年4月2日
委員長 北川 剛司氏 北川商事株式会社代表取締役社長
委 員 奥山千鶴子氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
委 員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会所属弁護士
委 員 西川 正 氏 NPO 法人ハンズオン埼玉常務理事
委 員 山口 明 氏 神奈川県労働委員
- ・実施時期 5月
- ・従事者人員 10人（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 1,500,000円

2020年度助成対象団体

団体名	区分	事業名 < >内活動領域	都市名	助成金額
みんなの場「てとてと」	一般	<居場所づくり支援> みんなの場「てとてと」事業	相模原	100,000円
NPO法人 ピアサポートF.A.cafe	一般	<食物アレルギーへの支援> 親子でともに学ぶ、食物アレルギーワークショップ事業	藤 沢	250,000円
NPO法人 RCB 大口夢	一般	<こども食堂、居場所づくり支援> 「ひとり親の子ども・母親の心と体を元氣いっぱい！地域食堂×未病食育教室」事業	横 浜	100,000円
Art Lab Ova (アートラボ・オーバ)	一般	<学習支援事業> 横浜パラダイス会館における備品の充実と学習支援事業新設	横 浜	250,000円
おっちー塾	一般	<居場所と学習支援事業> 地域で支える困っている子どもへの支援事業 ～困っている子どもたちやその保護者を地域で孤立させない～	横 浜	200,000円
常設子育てサロン ちっちゃなて	一般	<子育てサロン事業> 子育てサロンの運営	秦 野	200,000円
NPO法人 湘南まぜこぜ計画	課題 ①	<居場所づくり支援> 不登校児童・生徒がいつでも来られる常設の寺子屋ハウスへの移転と居場所マップ事業	藤 沢	200,000円
NPO法人 フードバンク横浜	課題 ②	<学習支援事業> 経済的困難を抱える子供の学び支援	横 浜	200,000円

2021年度助成事業

- ・内 容 2021年度助成対象団体の募集
「一般助成」に加え、課題助成枠を設定し募集する。
- ・実施時期 11月～
- ・従事者人員 10人（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 200,000円

イ 助成贈呈式及び助成報告会

2020年度助成贈呈式・2019年度助成報告会の実施

- ・内 容 2020年度助成対象団体への助成贈呈と2019年度助成対象団体の活動報告及び、寄付をした企業・団体・個人の方との交流
- ・日 時 未定
- ・場 所 未定
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 200,000円

ウ 子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が実施する休眠預金等活用法に基づく「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」の資金分配団体に採択されたことを受け、標記助成に係る県内実行団体の公募選考を経て決定した6団体と総額 1,105 万円の資金提供契約を締結し、初回分として総額 6,153,231 円を助成する。

- ・助成選考委員会 2020年10月4日（日）
- ・委員構成 アの助成選考委員会と同じ
- ・従事者人員 12人（事務局3人 理事4人 選考委員5人）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者の居場所事業などの利用者、子育てをしている親や家族、子ども支援に取り組む者など
- ・助成金額 初回(2020年度) 6,153,231円（決定総額 11,050,000円）
- ・助成期間 初回助成分 2020年11月～2021年4月（全体期間 ～2021年9月）

子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成に係る助成団体

団体名	事業名	都市名	2020年度助成金額 (決定総額)
特定非営利活動法人 子どもと生活文化協会	農園を活用した子ども・若者支援事業	小田原	1,355,500円 (2,199,500円)
特定非営利活動法人 フリースクール鈴蘭 学園	不登校・ひきこもり支援事業 ～子どもたちへの居場所の提供と学習支援～	相模原	829,500円 (1,808,900円)
NPO法人 神奈川県子ども支援 センターつなぐ	「トラウマのメガネ」プロジェクト ～適切なケアにつなげるためのトラウマの視点～	横 浜	795,960円 (869,000円)
特定非営利活動法人 よこはま地域福祉 研究センター	「地域みんなが元気になる活動事例集」 ～コロナに負けない！育てよう！子ども・若者～	横 浜	1,130,336円 (2,643,673円)
特定非営利活動法人 横浜メンタルサー ビスネットワーク	「子ども・若者のキャリアスクール」 ～駄菓子屋カフェで職業体験～	横 浜	1,260,250円 (2,007,800円)
一般財団法人エマー ジェンシー・メディカ ル・レスポonder財団	感染防護と、新型コロナ時代の応急手当教育 ～子どもが集う場所に安心と安全を～	横 浜	781,685円 (1,521,127円)

③前号の助成の対象となる団体等（以下、「助成対象団体等」という）に対する技術的支援

助成対象団体等への技術的支援の実施

- ・内 容 助成対象団体等への事業運営等の助言及び支援及び専門家の紹介等
- ・日 時 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人

・支 出 額 100,000 円

④子ども・若者と子育てに関する分野の調査研究と政策提言

子ども・若者と子育てに関する調査等

- ・内 容 子ども・若者と子育てに関する実態の把握
- ・日 時 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支 出 額 100,000 円

⑤子ども・若者と子育てを支えるための普及啓発

「ピンクシャツデー2021 in 神奈川」の取組み

- ・内 容 ピンクシャツデーキャンペーンの取組みをとおり、多様性を認め合い、いじめストップを願う地域づくりに取り組む。行政と企業、NPO が連携協働し進める神奈川モデルを構築し、県内各地に広げていく。
- ・日 時 2月（ピンクシャツデー月間）
キャンペーンイベント
- ・場 所 横浜市内 他
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 4,417,600 円

子どもみらいセミナーの実施事業（基金21協働事業負担金事業）

- ・内 容 子どもみらいセミナーの実施（3回）
いじめ・貧困・児童虐待をテーマに、3回連続講座を実施する。
- ・日 時 10月25日/12月6日/12月20日
- ・場 所 （公財）神奈川産業振興センター 会議室
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 2,000,000 円

子どもみらい応援団セミナーの実施事業（基金21協働事業負担金事業）

- ・内 容 子どものみらい応援団セミナーの実施（2回）
神奈川県「子どものみらい応援団」の構成団体等へ出向き、子どもの現状を伝えるセミナーを実施する。
- ・日 時 実施団体と調整の上決定
- ・場 所 〃
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 800,000 円

「バリアフリーフェスタかながわ」への参加

- ・内 容 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催「バリアフリーフェスタ」に出店し、神奈川の子どもたちを支える活動を紹介するブースを展開する。
- ・日 時 11月
- ・場 所 未定
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 20,000円

パンフレット「つなぎ育む子どもの未来」の活用による普及啓発事業

- ・内 容 パンフレットを活用して企業等への普及啓発活動を行う。
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支 出 額 388,000円

インターネットを活用した普及啓発事業

- ・内 容 Facebook等を活用して普及啓発事業を行う。
- ・日 時 随時
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 200,000円

広報誌の発行による普及啓発事業

- ・内 容 広報誌「ハンズ to ハンズ」を発行して広報宣伝活動を行う。
- ・日 時 7月及び2月（年2回発行） 各回3,000部発行
- ・場 所 事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支 出 額 200,000円

その他、メディア等を活用した広報宣伝事業

- ・内 容 新聞・テレビ等のメディアに積極的に働きかける。
- ・日 時 随時
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支 出 額 39,800円

⑥第3条の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

通常総会 5月開催

理事会 年10回開催
運営委員会 年10回開催

(2) 監査に関する事項

中間監査 年1回
本監査 年1回

(3) 事務局体制

事務局スタッフ	常勤職員	1名
	非常勤職員	1名
運営委員による事務局応援		
	有償ボランティアとして	4名(週1回程度)
	その他ボランティアとして	5名(随時)